



# 全力一心

令和5年度 学校便り  
令和5年 5月  
NO 3

## PTAミニバレーボール大会に思う

5月27日（土）の午後に、数年ぶりとなる「PTAミニバレーボール大会」が行われました。総勢50名近くが参加しての大会でした。

当初の計画では、「学級対抗」の予定でしたが、急遽集まったメンバーを8チームに分けての大会実施となりました。急な計画変更ではありましたが、和気あいあいと笑顔と笑い声が数多く出た活動となりました。

変更はあったものの、違う学年・学級の保護者同士の交流や、学級対抗であれば触れ合うことの少なかったであろう教員との交流が図られました。最大の目的であった「親睦・交流」は十分に達成できたと考えます。川南小学校に通う子どもたちのおかげでつながっている保護者と教員が、同じ時間を共有しスポーツを通して親睦・交流が図れたことには大きな意味を感じました。

安易に中止とせず、目的達成に向けて工夫して実施していただいたPTA保体部や役員さんのおかげと感謝しています。

今回はミニバレーというスポーツを通しての活動でしたが、他の場面でも親睦・交流を図りながら子どもたちを真ん中に据えたPTA活動がさらに広がっていくことを期待したいと思います。



## 考える力を高めたい＝読書のすすめ

家庭でも学校でも、子どもたちを育てていくうえで「知・徳・体のバランスのとれた育成」を目指しているのは共通していることと思います。

その際、どうしても「考える力」は大事になってくると考えます。学力向上や定着に向けては当然ですが、心を働かせて他者とよりよい関係を築くうえでも、自分の心身を食や安全、運動の側面から鍛えるうえでも「考える力」は欠かせません。

授業の中では教科や活動に即して「考える力」を鍛えることを繰り返しています。考えることを大切にしています。家庭でももちろん様々な場面に応じてお子さんに考えることを促しているはずです。

ところで、その「考える力」の土台は何でしょうか。

私たちは考えるとき、脳内で言語を使っています。そうしながら、教わったことを脳内で繰り返したり、状況を分析したり、対応を検討したりしています。つまり、考えるときに脳内で言葉を使ってあれこれ自問自答しています。考える土台は言葉です。

言葉の質と量を多く獲得している方が、考えが深まります。それは、学力の向上にも、人間関係にも、自身の健康にも影響してきます。

言葉を獲得するためには「読書」が有効です。6月にはファミリー読書も行います。ぜひお子さんに言葉を獲得する機会を作ってください。

# 6月

# 行事

日	曜	行 事	日	曜	行 事
2	金	あけぼの会 2・5年	19	月	プール開き
6	火	租税教室 6年、フッ化物洗口、耳鼻科検診 1・4年	20	火	フッ化物洗口
7	水	プール清掃 6年	21	水	全校集会
8	木	クラブ活動	22	木	あけぼの会 1・2・5年、クラブ
9	金	JRC登録式	23	金	プール清掃 5年
12	月	集金メ切、ファミリー読書	25	日	修学旅行 1日目
13	火	クラブ活動、フッ化物洗口	26	月	修学旅行 2日目
14	水	高齢者とのふれあい交流会、尿検査 2次	27	火	6年振替休業、フッ化物洗口
15	木	歯科検診	28	水	あけぼの会 3・4・6年
16	金	福祉体験学習 4年	30	金	参観日

## 子ども新聞 読んでます

町教育委員会の取り計らいで、2年前から、学校に子ども新聞を毎週届けていただき、「読書」「言葉の獲得」「読解力の向上」「社会事象に関心をもつ」ことに役立っています。

昨年、一昨年は各学級に一部でしたが、本年度は5年生全員に一部ずつ届いています。川南小では、その新聞を5年生→4年生→3年生と順に回覧して読んでいます。

読むときは国語の時間を活用して、とにかく読んで関心のある記事を見つけたり、学級で一つの記事に絞って書かれていることをクイズ形式で答えたり、言葉の意味を国語辞典を使って調べたりしています。

